

# 博物館だより

No.235

令和8年6月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行  
福岡県京都郡みやこ町豊津 1122-13  
TEL 0930-33-4666  
FAX 0930-33-4667

博物館休館日カレンダー  
2026年6月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

休館日 ※情報はR8.5.15現在

## 昭和100周年 みやこ町制20周年記念特別展 「昭和100周年」と吉田増蔵

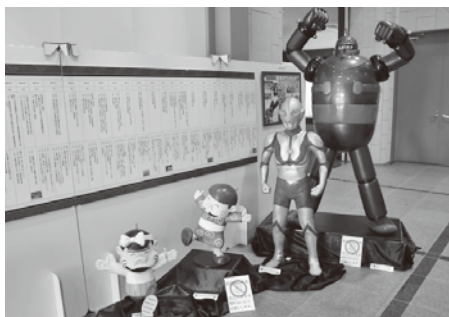
会期：6月21日（日）まで

令和8年（2026）は「昭和100周年」の節目の年にあたります。これを記念して4月29日（昭和の日）政府主催の「昭和100年記念式典」が日本武道館で執り行われました。天皇・皇后両陛下をはじめ5600人が出席した式典で「戦争、復興、高度経済成長」という激動の時代を振り返りました。

同日、この世界最長の二元号「昭和」を考案した吉田増蔵の出身地であるみやこ町でも特別展がはじまりました。この日はオープニングイベント終了後、特別展に貴重な資料を提供いただいた豊後高田市の「昭和の町」の「駄菓子屋の夢博物館」の小宮館長による「昭和を活かした町づくり」と題した記念講演が行われました。会場には「吉田学軒顕彰会」など関係者をはじめ町内外から多数の方々にご来館いただきました。特別展では吉田増蔵の生涯や功績に関わる貴重な資料の展示と共に「昭和レトログッズ」の展示で「懐かしい！」昭和の生活空間を再現しています。

（詳細は裏面参照）

100周年の機会に今最も注目を集めている「昭和」を考案したみやこ町の先人について学ぶことができますので是非ご来館ください。



▲企画展の入口では「昭和」のヒーローやキャラクターがお出迎え！



▶ 昭和のみやこ町内で撮影されたモノクロ写真（上）をAI（人工知能）処理でカラー動画像化した映像（下）をみる事ができます。

### ◆ 講座・教室・催し物ガイド 6月の歴史講座

#### 【漢詩紀行講座】

6月6日（土） 9時30分～

#### 【古文書講座】

6月13日（土） 10時～

#### 【古典かな講座】

6月20日（土） 9時30分～

#### 【みやこ学講座】

6月27日（土） 10時～

※日程等変更となる場合があります。  
※見学会等は別途ご案内します。

### ◆ 「博物館」を通じて郷土の歴史や人物について学びませんか？

#### 博物館友の会

博物館の様々な活動への協力・援助を目的に、講演会や史跡巡りなどの研修活動（バスハイクなど）を行いながら会員の親睦や情報交換などを通じて町内や京築地域の考古学、民俗学などを楽しく学ぶ会です。

#### 文化遺産ボランティア養成講座

みやこ町は、数多くの古墳をはじめ古代には現在の県庁にあたる「国府」が置かれるなど、北部九州における拠点地域であったことから特に重要な遺跡が集中する町です。また夏目漱石門下で小説「三四郎」の主人公のモデルや「NEC」の創業者など、様々な分野で功績を残した人物を輩出した町でもあります。町内外の見学や来館者などを対象に、町の史跡や人物などの文化遺産のすばらしさを伝えるガイドを養成する講座です。

### 4・5月の業務日誌から

4月22日（水）特別展「昭和100年と吉田増蔵」の展示のため大分県豊後高田市「昭和の町」の「駄菓子屋の夢博物館」から三輪自動車「ミゼット」が博物館に到着しました。

5月8日（金）内閣官房の「昭和100年」関連施策推進室から堀内参事官補佐が特別展見学のため来館しました。吉田増蔵関連資料の熟覧など町の先人の功績について詳しく知っていただく機会になりました。



▲博物館に無事到着。60年以上経過したとは思えないコンディションを保つ車両を慎重に搬入しました。



▲吉田増蔵による「昭和」考案の経緯や関連資料について様々な質問を受けました。

# 特別展 「昭和100周年と吉田増蔵」を 開催しています！是非ご来館ください！（6月21日(日)まで!）

博物館ホールのシアター前には  
映画「ALWAYS 三丁目の夕日」で実際の撮影に使用された三輪自動車「ミゼット」と70年代のバイク「モンキー」を展示しています。またシアターでは「昭和のみやこ町」を撮影した写真をAIの技術でカラー、動画化した映像を見ることができます。



全長10mに及ぶ「みやこ町100年年表」でこの町の100年を振り返ることができます。

また吉田増蔵の生涯や故郷とのつながりを伺わせる資料をはじめ、元号「昭和」や「上皇陛下の称号・名前」考案に関する資料を展示しています。



特別展では館内に昭和30年～50年代の生活で使われた家電製品などを展示して、当時の生活空間をリアルに再現しました。また戦後復興の象徴である1964年開催の「東京オリンピック」で使われた聖火トーチやユニフォームなど貴重な資料を展示しています。（展示の内容は変更することがあります。）